

発注企業動向調査結果

-2015.5-

■調査時点 平成27年3月調査(平成27年3月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

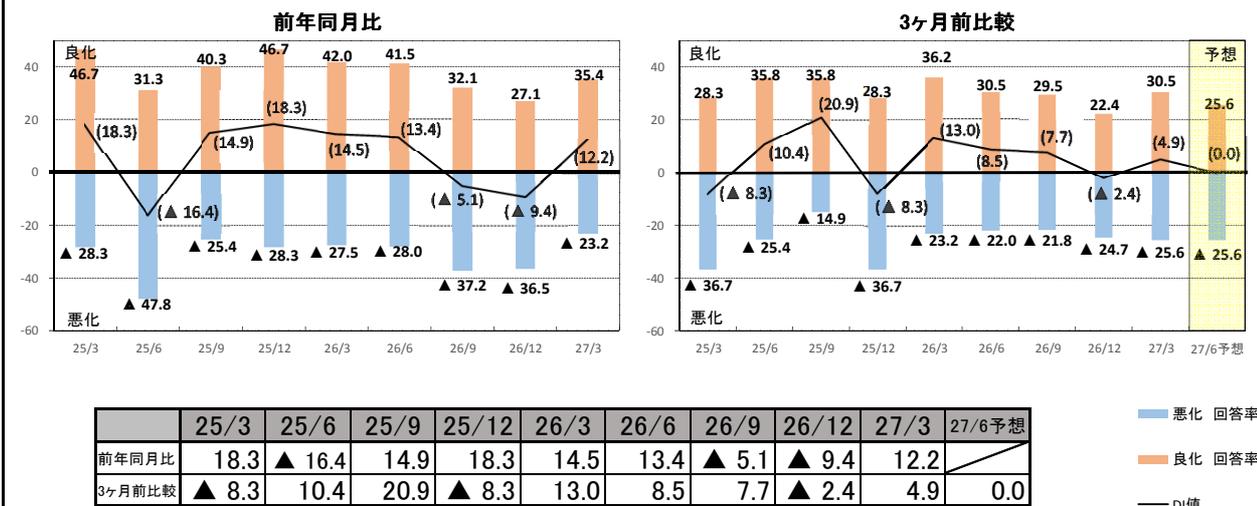
■回答企業 82社(回答率:54.67%)

<業種内訳>

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	6社
一般機械器具	16社
電気機器	18社
輸送用機器	17社
精密機器	3社
縫製	6社
計	82社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(12.2)で前回の(▲9.4)から21.6ポイント増の大幅良化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(4.9)で前回の(▲2.4)から7.3ポイント増の良化となった。
- ・外注状況は(▲2.4)で前回の(▲9.4)から7.0ポイント増の良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(0.0)で4.9ポイント減で悪化、外注状況が(▲6.1)で3.7ポイント減の悪化となった。
- ・円安による原材料の高騰の影響はまだ見られるものの、全体的な生産高は良化傾向にある。しかし、先行きが見えないという声も上がっており、今後は悪化していくと予想している企業が多い。外注状況については円安のため国内に一部生産を戻す動きもあり、良化傾向にあるが、依然として海外との価格競争は続いており、改善されるまでは至っていない。